



19 都発第 17 号
平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省道路局長 様

長与町長 葉 山 友 昭



中期的な計画作成にあたっての意見提出について

このことについて、平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号により中期的な計画の作成にあたっての、意見提出の依頼を受けましたので別紙のとおり意見書の提出を致します。

よろしくお取り計らい下さるようお願い申し上げます。

中期的な計画の作成にあたって、今後の道路政策や道路の整備、管理についての意見

1、重点化を進めるうえで特に優先度の高い政策

本町は長崎都市圏のベッドタウンとして人口が急増し、長崎市や時津町へ朝夕の通勤通学時の交通渋滞は日常的に起こっており、町内外からの乗り入れる車を迂回分散させるなど主要な幹線道路の交差点改良等、緊急に整備が必要と思われれます。

具体的に申し上げますと、国道206号から長与に至る県道長崎多良見線の赤迫交差点の高架橋等による改良。長崎市内の電車道の高架橋による改良。川平有料道路の女都ランプ、長与ランプについて長崎市内方面への乗り降りしかできないが、時津方面よりへの乗り降りも出来るようにインターチェンジへの改良。県道東長崎長与線の長崎市川平町から長崎バイパスへ直接乗り降り出来るインターチェンジの新設。など主要な幹線道路の整備が早急に必要と思われれます。

また、町道の維持管理等、町の単独予算で日常的に整備しているが交通量増大等により路面等の傷みが早く、町道維持管理費が増大いたしています。簡素な条件等で道路維持予算について補助の対象としていただきたい。

2、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路の建設改良等について国の設計指針に基づいて整備いたしていますが、国の設計指針にとらわれず地域の実情に応じ柔軟な設計での整備が補助対象事業として出来るよう見直しをお願いしたい。

3、その他、道路政策や道路の整備、管理全般に関すること

国道207号の長与町斉藤郷三彩橋から舟津橋間から時津町へ通じるバイパスの整備、及び長与町岡郷一本松から塩床は現在道路幅員が狭小で、カーブが多く、また、バス路線であるが車輛等も離合が困難で待避している状況であります、現在国道207号潮井崎工区として道路改良中であるが早期完成をお願いしたい。